

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	グループホームの新規オープンにつき、人材不足の今般、現在働いてくださっている方々のレベルアップが急務である。	○新人は認知症に対する知識の習得を、実践を通して理解すると共に、研修を重ね、また実務の流れをしっかりと覚える。 ○中堅職員は新人に対して、的確な指導ができるように、人に教える難しさを通して、自身の成長に繋げる。	○新人はチューターと共に、目標を決め、一つずつクリアできるように頑張る。 ○中堅はチューターを経験することで、自分自身を見返る機会と捕らえ、新人と共に自己研鑽に励む。	6ヶ月
2	16	地域の役に立つ施設のあり方を模索しているが、どこまで地域に溶け込んでいるのか定かではない。	運営推進会議にて地域の方々と、緊急災害時にどのような形なら、地域のお役に立てるのかを具体的に話し合い、地域の現状を把握し、できる範囲でだが、すぐに活動できる体勢を整える。	運営推進会議で地域の方々と具体的に話し合い、また、施設の非常災害時の資機材、備蓄品を実際に見てもらう。	6ヶ月
3	6	毎年ご家族にアンケートを取る形で、ご家族の気持ちを把握できるように努めているが、全てが本音での回答なのかはわからない。	ご家族の思いに添うことは100%は困難であっても、近づく努力を怠らない。	アンケートへの協力をお願いする時は、自分たちの勉強になることなので、遠慮せず、思っていることを書いてほしいとお願いする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。